

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 2 年 7 月 13 日現在

機関番号：30107

研究種目：基盤研究(B)（一般）

研究期間：2017～2019

課題番号：17H02453

研究課題名（和文）「議会運営における時間」に関する比較研究

研究課題名（英文）Comparative Studies on "the Parliament and the Time"

研究代表者

岡田 信弘（Okada, Nobuhiro）

北海学園大学・法務研究科・教授

研究者番号：60125292

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 12,200,000円

研究成果の概要（和文）：本共同研究は、「議会運営における時間」の問題を国際的な視野で研究することにより、日本の国会が直面している諸問題（国会審議の形骸化・空洞化）の原因を明らかにするとともに、それらを解消・克服するための方策を探究するべく遂行された。その成果の一部は、令和2年2月に刊行された『議会審議の国際比較【議会と時間】の諸相』（北海道大学出版会）において公表した。その中で、外国の研究者や日本の実務家との研究会活動を通じて得られた知見に基づいて、会期不継続の原則の廃止、事前審査制度の廃止、通年会期制の採用などの具体的な提言を行っている。

研究成果の学術的意義や社会的意義

議会運営や議会審議については、今までは主に政治学の分野で研究が進められてきたように思われる。憲法学の分野ではあまり積極的には取り組まれてこなかった。加えて、実務家との交流も活発ではなかった。本共同研究は、そうした研究動向の中であって、外国の議会法研究者や日本の実務家との交流を通じて、国際的視野での学問的な研究を行うことによって得られた知見に基づいて具体的な提言を議会実務に発信することに努めた。その意味で、憲法学における議会研究の進展に貢献する一方で、日本の国会のあり方についての問題提起を行うという社会的意義をも有する成果を示すことができたと考えている。

研究成果の概要（英文）：This studies was carried out by the investigating the problems of "the Time in the Parliament" in an international vision, for the purpose of clarifying them. Furthermore, we researched the policies to solve those problems and proposed them. Concretely, we proposed the abolition of the principle of noncontinuance of the session, the adoption of the annual session's system etc..

研究分野：憲法学

キーワード：公法学 憲法学 議会法 議会審議 議院内閣制

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

議会運営及びそれに基づく議会の作業量は、「時間」の問題と深く関わっている。しかし、この「議会運営における時間」の問題は、従来、主に政治学の分野で議論され、憲法学においては本格的な研究対象とはされてこなかった。また、この点について、憲法学と議会実務の世界との間に学術的交流はほとんどされていなかった。こうした学問的状况を前に、日本の国会のあり方はますます空洞化・形骸化の実態を示すようになっていたが、その原因の一つに日本独特の会期制のあり方を挙げることができよう。本共同研究はまさにこうした問題状況を踏まえて開始された。

2. 研究の目的

本共同研究は、密接な関わりを有する「議会と時間」をめぐる諸問題を国際的な視野で検討することにより、日本の国会が直面している国会審議と運営に関わる問題点を明らかにするとともに、それを解消するための方策を探究することを目的として遂行された。

3. 研究の方法

本共同研究は、まず研究分担者がそれぞれ主要国における「議会と時間」の関係について検討し、それを研究代表者がまとめる形で遂行された。得られた知見を内部的な研究会で突き合わせることも、複数の国際シンポジウムを通じて国内外の研究者や実務家に発信した。なお、本共同研究の方法的特色は、何よりも、異なる分野に属する人々の相互交流と共同作業によって実施されたことにある。具体的には、国を異にする人々の間での学術交流、そして異なる学問領域に属する人々、例えば、憲法学者、政治学者、実務家の参加と協力を得て行われた。

4. 研究成果

本共同研究の研究成果を、国際的な学術交流と成果の公表に焦点を合わせて簡潔にまとめると以下のとおりである。

(1) 外国(イタリア・フランス)での調査：2017年9月に、イタリアとフランスの憲法裁判所・憲法院と下院を訪問し、裁判官や議会職員にヒアリングを実施した。このヒアリングにより、それぞれの国における議会審議のあり方やそれに対する憲法裁判所の関与の仕方について意見交換を行った。

(2) 国際ワークショップでの報告：2018年3月に、広島大学で開催された「第12回日仏公法セミナー」において、研究代表者と分担者2名が研究生顔の一部をフランス語で報告し、フランス人研究者と意見交換を行った。2019年3月に、研究代表者と分担者が渡仏し、リール大学(テーマ：「議会と時間」- フランスと日本の視点の交錯)とINALCO(テーマ：日本における民主主義、憲法及び議会)で研究成果の一部を公表するためのワークショップを合同で開催し、フランスの研究者や学生と意見交換を行った。2019年9月にフランスのランスとパリで開かれた「第13回日仏公法セミナー」で研究代表者と2名の分担者が研究成果の一部を報告し、参加していた多くのフランス人研究者と学術交流を行った。2020年2月に、本共同研究の成果を総括する国際ワークショップを東京で開催した。フランスから3名の研究者を招聘し、研究をまとめるための意見交換を行った。

(3) 具体的な方策の提言を含む研究成果の公表：研究代表者が編者となって、『議会審議の国際比較【議会と時間】の諸相』(北海道大学出版会、2020年2月)を刊行した。そでは、会期不継続原則の廃止や通年会期制の採用などの具体的な提言を行っている。なお、本書の構成は以下のとおりである。

はじめに 岡田信弘(研究代表者)

第一部 考察の枠組み

第一章 国際比較から見た国会審議の特色と問題点 - 国会における「時間」の意義と特異性 - 大山礼子

第二章 フランスにおける議会の時間 ジル・トゥルモンド/徳永貴志訳

第三章 合理化された議会制と立法手続 セリーヌ・ヴァンゼル/徳永貴志訳

第四章 会期制の比較研究 岡田信弘（研究代表者）

第二部 国別の考察

第五章 フランス議会上院における法案審議の合理化と政府統制機能の強化 徳永貴志（分担者）

第六章 フランスの立法過程における議会多数派の役割 ジュリー・ベネッティ/徳永貴志訳

第七章 議会と時間 - ドイツ連邦議会の事例 - セリーヌ・ヴァンゼル/岡田信弘・塩田明子・徳永貴志訳

第八章 イタリアにおける議院規則改正と議会審議への影響 芦田淳

第九章 イギリス議会における時間をめぐる制度と運用 木下和朗（分担者）

第十章 アメリカ連邦議会における法案審議過程の特徴 - 近年の党派的分極化の中で - 新井誠（分担者）

第十一章 日本の国会審議の効率性と代表性 武蔵勝宏

第三部 総括と解題

第十二章 総括と解題 - 議会審議をどのように比較するのか - 只野雅人（分担者）

なお、本書に収められている複数の論攷において、「議会と時間」をめぐる国会改革の具体的な方策として、会期不継続原則の廃止、通年会期制の採用、与党における事前審査制の廃止などが提言されている。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計23件（うち査読付論文 0件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 岡田信弘（共著）	4. 巻 54巻4号
2. 論文標題 フランス憲法院の「原像」と「現像」-憲法院関係者の「証言」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 北海学園大学法学研究	6. 最初と最後の頁 554-584
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 新井誠	4. 巻 80号
2. 論文標題 政治部門と憲法院の相互作用	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 比較法研究	6. 最初と最後の頁 152-158
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 只野雅人	4. 巻 665号
2. 論文標題 憲法と政治－「一強」のひずみと国会	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 税経新報	6. 最初と最後の頁 3-11
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 只野雅人	4. 巻 なし
2. 論文標題 第4章・41条～48条	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 辻村みよ子・山元一編『概説 憲法コンメンタール』（信山社）	6. 最初と最後の頁 223-250/487
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 赤坂幸一	4. 巻 763号
2. 論文標題 議会先例の形成	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 法学セミナー	6. 最初と最後の頁 66-76
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 赤坂幸一	4. 巻 762号
2. 論文標題 議員特典再考	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 法学セミナー	6. 最初と最後の頁 67-74
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 赤坂幸一	4. 巻 761号
2. 論文標題 政治空間と法	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 法学セミナー	6. 最初と最後の頁 79-90
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 赤坂幸一	4. 巻 なし
2. 論文標題 立法権と国会	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 穴戸常寿・林知更編『総点検 日本国憲法の70年』(岩波書店)	6. 最初と最後の頁 210-220
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 徳永貴志	4. 巻 なし
2. 論文標題 「国会」「議院と議員」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 齋藤一久・堀口悟郎編著『図録 日本国憲法』（弘文堂）	6. 最初と最後の頁 76-83
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 新井誠	4. 巻 62巻12号
2. 論文標題 政府の統制 - 与党（多数党）と野党（反対）	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 法学セミナー	6. 最初と最後の頁 32 - 37
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 新井誠	4. 巻 91巻1号
2. 論文標題 議会上院の選挙制度構想 - 参議院議員選挙区選挙の合区解消に向けた一考察	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 法学研究（慶應義塾大学法学研究会編）	6. 最初と最後の頁 285 - 309
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 徳永貴志	4. 巻 62巻12号
2. 論文標題 議会における審議と立法 - 審議過剰なフランス議会と審議過少な日本の国会	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 法学セミナー	6. 最初と最後の頁 26 - 31
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 只野雅人	4. 巻 24号
2. 論文標題 参議院選挙区選挙と投票価値の平等 - 最大判平成29・9・27	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 論究ジュリスト	6. 最初と最後の頁 198 - 206
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 只野雅人	4. 巻 87号
2. 論文標題 揺れる民意 と議会 - フランスと日本の二院制から考える	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日仏文化	6. 最初と最後の頁 83 - 95
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木下和朗	4. 巻 67巻1号
2. 論文標題 イギリスにおける人権保障	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 岡山大学法学会雑誌	6. 最初と最後の頁 37 - 71
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 赤坂幸一	4. 巻 440号
2. 論文標題 立法過程の合理化・透明化	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 法学教室	6. 最初と最後の頁 36 - 43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 赤坂幸一	4. 巻 なし
2. 論文標題 内閣法制局の矜持	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 牧原出編『法の番人として生きる 大森政輔 元内閣法制局長官回顧録』	6. 最初と最後の頁 311 - 318
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岡田信弘	4. 巻 2号
2. 論文標題 選挙制度改革の課題 - 参議院の議員定数不均衡問題を中心に	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 憲法研究	6. 最初と最後の頁 161 - 172
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 赤坂幸一	4. 巻 5号
2. 論文標題 政党本位・再考	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 憲法研究	6. 最初と最後の頁 49-59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 赤坂幸一	4. 巻 771号
2. 論文標題 政党と憲法秩序	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 法学セミナー	6. 最初と最後の頁 100-105
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木下和朗	4. 巻 5号
2. 論文標題 日本における首相統治とその統制－憲法上の含意－	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 憲法研究	6. 最初と最後の頁 61-72
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 只野雅人	4. 巻 5号
2. 論文標題 参議院改革と政治改革25年	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 憲法研究	6. 最初と最後の頁 35-47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 徳永貴志	4. 巻 476号
2. 論文標題 二院制	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 法学教室	6. 最初と最後の頁 21-25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計13件（うち招待講演 11件 / うち国際学会 9件）

1. 発表者名 岡田信弘
2. 発表標題 Une etude comparee de sessions parlementaires
3. 学会等名 「議会と時間」仏日合同研究会（フランス・リール大学）（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 岡田信弘
2. 発表標題 Democratie et Constitution: les structures de la democratie representative japonaise
3. 学会等名 「日本における民主主義、憲法及び議会」仏日合同研究会（フランス・INALCO）（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 新井誠
2. 発表標題 政治部門と憲法院との相互作用
3. 学会等名 比較法学会（関西大学）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 新井誠
2. 発表標題 両院制と民意
3. 学会等名 国家と法政策研究会（琉球大学）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 新井誠
2. 発表標題 Le bicamérisme et la représentation populaire a la Diète japonaise
3. 学会等名 「日本における民主主義、憲法及び議会」仏日合同研究会（フランス・INALCO）（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 木下和朗
2. 発表標題 La procedure parlementaire et le temps dans la Diète japonaise
3. 学会等名 「日本における民主主義、憲法及び議会」仏日合同研究会（フランス・INALCO）（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 徳永貴志
2. 発表標題 Le processus formel et informel dans la procedure legislative au Japon
3. 学会等名 「議会と時間」仏日合同研究会（フランス・リール大学）（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 只野雅人
2. 発表標題 二院制の比較憲法学 - 揺れる民意 と議会 -
3. 学会等名 日仏文化講座（日仏会館）（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 岡田信弘
2. 発表標題 日本国憲法における地方自治－「地方自治の本旨」とその制度的具体化－
3. 学会等名 第13回日中公法学シンポジウム（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 岡田信弘
2. 発表標題 Le Parlement et le temps : une etude comparative sur les sessions parlementaires
3. 学会等名 第12回日仏公法セミナー（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 新井誠
2. 発表標題 La Chambre des conseillers et le systeme representatif au Japon
3. 学会等名 第13回日仏公法セミナー（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 徳永貴志
2. 発表標題 Le pouvoir de coalistion et le debat parlementaire japonais
3. 学会等名 第13回日仏公法セミナー（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 木下和朗
2. 発表標題 イギリス議会における時間をめぐる制度と運用
3. 学会等名 イギリス憲法研究会（招待講演）
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計1件

1. 著者名 岡田信弘編著	4. 発行年 2020年
2. 出版社 北海道大学出版会	5. 総ページ数 320
3. 書名 議会審議の国際比較【議会と時間】の諸相	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	新井 誠 (Arai Makoto) (20336415)	広島大学・法務研究科・教授 (15401)	
研究分担者	徳永 貴志 (Tokunaga Takashi) (50546992)	和光大学・経済経営学部・教授 (32688)	
研究分担者	木下 和朗 (Kinoshita Kazuaki) (80284727)	岡山大学・法務研究科・教授 (15301)	
研究分担者	只野 雅人 (Tadano Masahito) (90258278)	一橋大学・大学院法学研究科・教授 (12613)	
研究分担者	赤坂 幸一 (Akasaka Koichi) (90362011)	九州大学・法学研究院・准教授 (17102)	